



株主・投資家の皆さまへ

第64期中間株主通信
(2019年4月1日~9月30日)

明治電機工業株式会社

証券コード：3388

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第64期第2四半期（2019年4月1日～9月30日）における事業の概況と業績についてご報告申し上げます。
株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



Q 第2四半期までの事業環境についてお聞かせください。

A 製造業各社の設備投資に減速感が見え始めました。

国内経済は、総じて緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題の影響などにより、世界経済の減速懸念が払拭されず、先行きの不透明感が強まる状況にあります。

当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業におきましては、景気の先行き懸念に加え海外市場に減速感が見られることから、設備投資には一部で慎重な姿勢が見られる一方、将来の成長に向けた投資は継続的に実施されました。電気・電子・半導体関連企業におきましては、スマートフォン向けの需要低迷が続くなど設備投資には減速感が見られ、工作機械・産業機械関連企業におきましても、米中貿易摩擦が長期化し、電機、自動車向けの機械受注の減少が続くなど、生産動向は弱含みのまま推移いたしました。

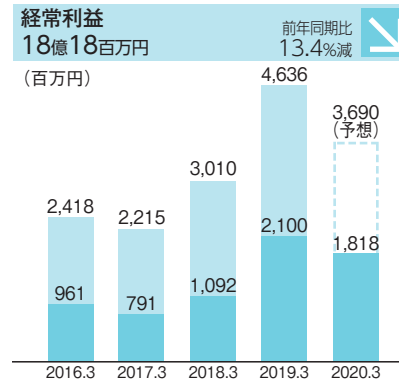
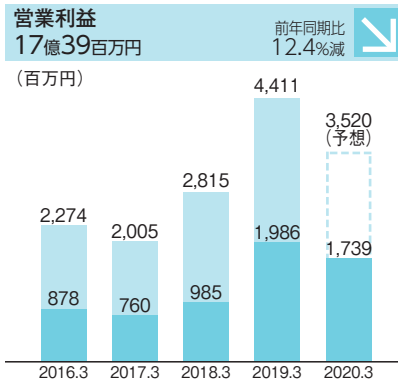
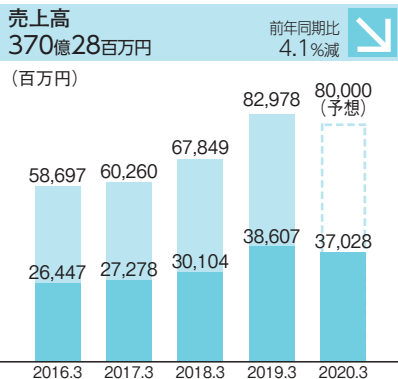
Q 第2四半期までの業績（連結）についてお聞かせください。

A 減収減益という結果に終わりました。

各分野で一層の技術革新が想定される中、当社グループにおきましては、「次代に向けた経営基盤の強化」を基本方針とした第9次中期経営計画（2017年度～2019年度）に基づき、エンジニアリング力の強化やグローバルビジネスの拡大、コンボ販売の領域拡大、商材づくりなどに取り組んでまいりました。

業績の推移（連結）

■ 第2四半期 ■ 通期 ● 配当性向



この結果、第2四半期までの売上高は370億28百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は17億39百万円（同12.4%減）、経常利益は18億18百万円（同13.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として確定拠出年金制度の導入に伴う退職給付制度改定損が発生したことから、10億70百万円（同29.2%減）となりました。

Q 通期の業績予想（連結）についてお聞かせください。

A 目標必達に向け全役員総力を挙げて取り組みます。

売上高800億円（前期比3.6%減）、営業利益35億20百万円（同20.2%減）、経常利益36億90百万円（同20.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益24億50百万円（同22.3%減）を必達目標として全役員総力を挙げて取り組んでまいります。

Q 株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

A 中間配当金は25円、期末配当金は40円を予定しています。

配当につきましては、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、連結配当性向30%を目処として、将来の持続的成長に必要な内部留保の充実を図りながら、配当を行うことを基本方針としております。

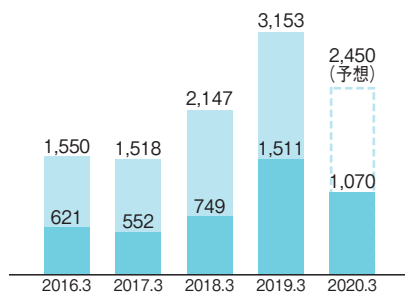
この基本方針に基づき、中間配当金は、1株当たり25円とさせていただきます。なお、期末配当金は40円を予定しており、年間配当金につきましては、1株当たり65円とさせていただきます。予定です。



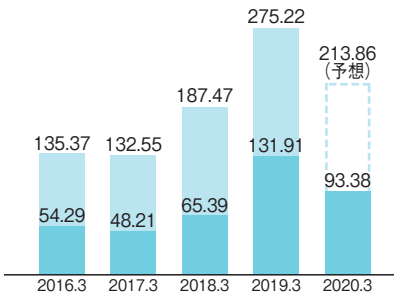
2019年11月

代表取締役社長 林 正弘

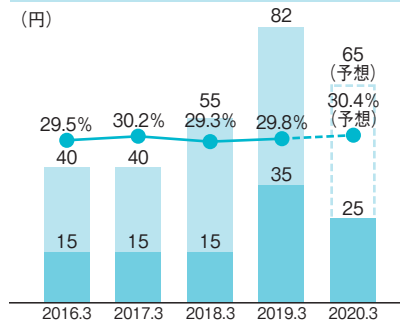
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益
10億70百万円
前年同期比
29.2%減



1株当たり四半期（当期）純利益
93円38銭



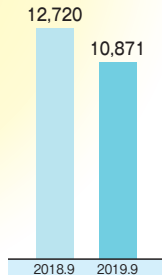
配当金・配当性向



制御機器

(百万円)

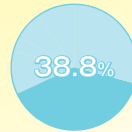
制御機器は、当社グループの主力取扱商品で、主に自動車及び電気・電子・半導体関連企業向けの販売が減少したことから、売上高は108億71百万円（前年同期比14.5%減）となりました。



産業機器

(百万円)

産業機器は、自動車及びセラミック関連企業向けの大型設備案件が増加し、売上高は143億76百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

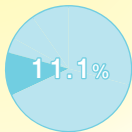


産業用ロボット・受配電設備など

計測機器

(百万円)

計測機器は、自動車及び電気・電子・半導体関連企業向けの販売が減少し、売上高は41億19百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

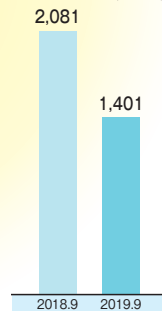
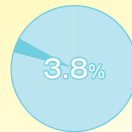


電子計測器・工業計器など

電源機器

(百万円)

電源機器は、自動車関連企業向けの大型設備案件が減少し、売上高は14億1百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

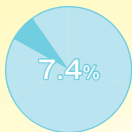


安定化電源・無停電電源など

実装機器

(百万円)

実装機器は、自動車関連企業向けの大型設備案件が減少し、売上高は27億28百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

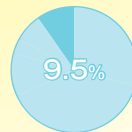


チップマウンター・リフロー炉など

その他

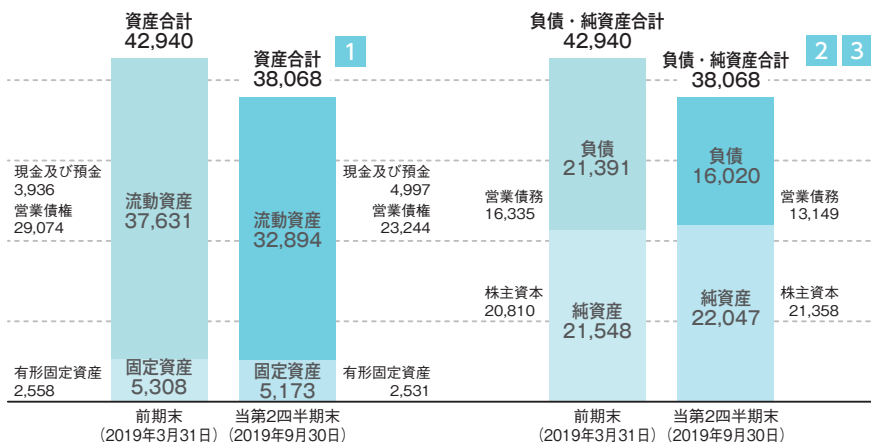
(百万円)

上記5品目以外においては、売上高は35億30百万円（前年同期比6.9%減）となりました。



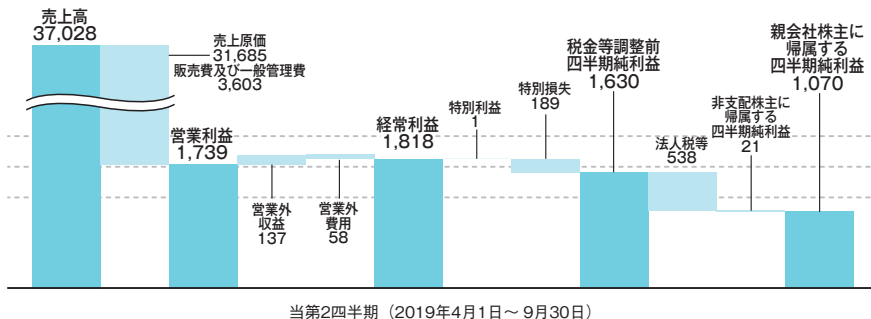
四半期連結貸借対照表

(百万円)



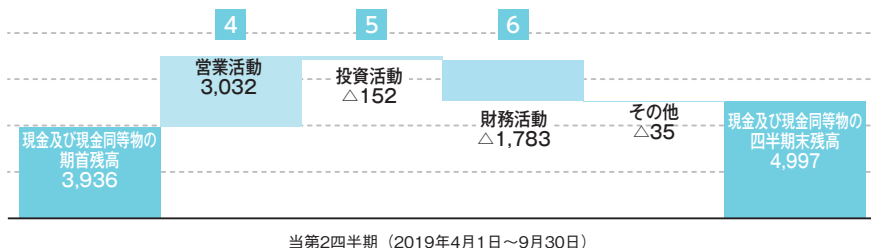
四半期連結損益計算書

(百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)



ポイント

- 資産合計**
資産合計は前期末比48億71百万円減少し、380億68百万円となりました。主な要因は、営業債権が58億29百万円減少したことによります。
- 負債合計**
負債合計は前期末比53億71百万円減少し、160億20百万円となりました。主な要因は、営業債務が31億85百万円、短期借入金が12億44百万円減少したことによります。
- 純資産合計**
純資産合計は前期末比4億99百万円増加し、220億47百万円となりました。この結果、自己資本比率は57.5%と前期末比7.7ポイント向上しました。
- 営業活動によるキャッシュ・フロー**
営業活動の結果、獲得した資金は30億32百万円となりました。これは、売上債権の減少額57億87百万円などの資金増によるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー**
投資活動の結果、使用した資金は1億52百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1億14百万円などによるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー**
財務活動の結果、使用した資金は17億83百万円となりました。これは、短期借入金の純減少額12億38百万円及び配当金の支払額5億37百万円などの資金減によるものです。

第63回定時株主総会のご報告

2019年6月25日に、第63回定時株主総会を本社の明治ホールにて開催し、約80名の株主様にご出席いただきました。

本総会においては、開会宣言、株主数及び議決権数の報告、監査結果報告、第63期事業報告、計算書類の報告、議案の審議及び決議などが行われました。

ご出席いただいた株主さまからは、①AI、IoTなど技術革新への今後の対応はどうか、②今期減収減益予想であるが利益を生み出すための具体的施策はあるか、など多くの質問がありました。

株主の皆さまからのご意見に真摯に耳を傾け、今後の事業経営に努めてまいりたいと思います。来年の定時株主総会におきましても、たくさんの方の株主さまにご出席いただけましたら幸いです。



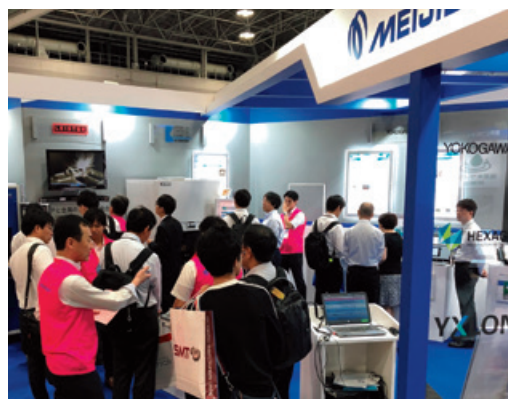
「人とくるまのテクノロジー展2019名古屋」に出展しました

2019年7月17日～19日にポートメッセなごやで開催された「人とくるまのテクノロジー展2019名古屋」に出展いたしました。

本展示会は、自動車業界の第一線で活躍する技術者・研究者のための国内最大規模の自動車技術展です。

昨今の自動車業界においては、環境規制、電動化、自動運転、軽量化など、技術開発に関して今まさに大きな分岐点であり、最新の技術提案力が必要とされています。そのような環境の中、当社ブースでは、マルチマテリアルの浸透により多様化する溶接・接着・接合・加工・成型技術革新への挑戦にお応えできるよう「溶着」、「分析」、「検査」ソリューションと、先進運転支援システム開発／自動運転開発に大きく寄与する「計測」ソリューションを展示いたしました。

3日間の来場者数は、全体で45,514名、当社ブースには1,024名もの多くの方にご来場いただき、当社ブースでは共同出展企業様によるプレゼンテーションも数多く行われ、大盛況の展示会となりました。



■ 会社概要

会社名	明治電機工業株式会社
創立	1920年（大正9年）7月
資本金	13億1,177万8千円
従業員数	712名（男性479名、女性233名）（連結）
本社所在地	〒453-8580 名古屋市市中村区亀島二丁目13番8号
事業内容	電気機器・計測器及び電気設備並びに自動・省力化用機能部品とその設備の販売及び輸出入業務 エレクトロニクス製品・各種検査装置・メカトロ・FA・情報・物流システムの開発、設計、製作 計測・制御・情報処理のコンサルティング 工業計器・電気計測器の保守
取引銀行	三菱UFJ銀行、みずほ銀行、福岡銀行、八十二銀行、三井住友信託銀行

■ 役員

代表取締役社長	林 正 弘
代表取締役専務	舟 橋 範
取締役	日下部 康 基
取締役 監査等委員	足 立 秀 一
取締役 監査等委員	奥 野 信 宏
取締役 監査等委員	成 田 龍 一
取締役 監査等委員	鬼 頭 肇
常務執行役員	尾 崎 秀 穂（第3営業本部長）
常務執行役員	佐 合 俊 治（第1営業本部長）
執行役員	岡 田 芳 明（明治電機商業（上海）有限公司 総経理）
執行役員	杉 脇 弘 基（企画管理本部長）
執行役員	大 藪 一 彰（第4営業本部長）
執行役員	川 地 努（第2営業本部長）
執行役員	堀 沢 明 正（エンジニアリング事業本部長）
執行役員	田 中 浩 二（ソリューション事業本部長）

※奥野信宏氏、成田龍一氏、鬼頭肇氏は社外取締役であります。

■ 株式の概況

- ・発行可能株式総数…………… 48,000,000株
- ・発行済株式総数…………… 12,067,120株
- ・株 主 数…………… 3,145名

■ 大株主（上位10名）

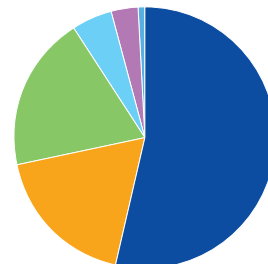
株 主 名	当社への出資状況	
	持株数（千株）	持株比率（%）
合同会社ワイコーポレーション	1,220	10.1
明治電機工業従業員持株会	536	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	489	4.0
林 正弘	361	2.9
吉田 年章	360	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	329	2.7
オムロン株式会社	320	2.6
三井住友信託銀行株式会社	300	2.4
安井 博子	295	2.4
伊藤 秀則	260	2.1

※上記のほか、当社所有の自己株式599千株（4.9%）があります。

■ 株式分布状況

株主別分布

■ 個人・その他	6,475,506株（53.66%）
■ 金融機関	2,187,600株（18.13%）
■ その他の法人	2,315,300株（19.19%）
■ 自己株式	599,696株（4.97%）
■ 外国法人等	388,601株（3.22%）
■ 証券会社	100,417株（0.83%）



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会の基準日 毎年3月31日
期末配当の基準日 毎年3月31日
中間配当の基準日 毎年9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社
の本店及び全国各支店で行って
おります。

公告の方法 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることがで
きない事故その他やむを得ない事
由が生じた場合は、日本経済新聞
に掲載して行います。

公告掲載URL <https://www.meijidenki.co.jp/>
単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様
は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお
申出ください。
- 未払配当金のお支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置
法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行
う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、
配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいており
ます。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



明治電機工業株式会社

〒453-8580 名古屋市中村区亀島二丁目13番8号
Tel.052-451-7661 Fax.052-451-7659 (代表)

● ホームページのご案内

当社では各種IR情報をホームページに掲載しております。



www.meijidenki.co.jp/